

こんしゅう せい どう
今週のことば「聖堂」

せいしゅう ふくいんしゅう
《聖書》ヨハネによる福音書 2:13-22

せい どう
聖堂

きょうかい あつ ばし せいどう
教会で集まる場所として聖堂があります。しかし、もともとキリスト者が集まる場所としては、家庭が考えられます。使徒言行録によると、最初の信者たちは「毎日ひたすら心を一つにして神殿に参り、家ごとに集まってパンを裂き」(2:46)「毎日、神殿の境内や家々で絶えず教え」(5:42)ていました。まだユダヤ教の中の一つのグループであった時は、神殿にも参っていましたが、パンを裂いたる時は、家庭が集まる場所でした。新約聖書の他の箇所には、「彼らの家々に集まる教会の人々によろしく」(ロマ16:5)とか、「その家に集まる教会の人々」(1コリ16:19)、「彼女の家にある教会の人々」(コロ4:15)、「あなたの家にある教会」(フィレ2)という表現が見られます。

きりすと きょう せい どう わ はっ
キリスト教がユダヤ教から分かれ、発
展するにつれて家庭で集まるにはいろい
ろと弊害もでてきたのでしょう。神殿に
代わるものとして、聖堂が作られていっ

かんが せいどう ちいき ひと
たことが考えられます。聖堂は地域の人
びと あつ ばし ちくわり
々が集まる場所としての役割もあったの
でしょう。

かみ で あ ばし
神と出会う場所

かみ で あ ばし かんが
イエスが神と出会う場所として考えて
いたのは、エルサレムの神殿ではありま
しんでん びょう
せんでした。エルサレムの神殿には、病
ん しみびと ちか
人や罪人は近づけなかったのです。イエ
びょうにん つみびと なか かみ す
スは、むしろ、病人や罪人の中に神が住
かみ
んでおられると考えていました。
わたし かみ で あ ばし かんが
私たちが神と出会う場所を考えると、
きょうかい せいどう かんが
つつい教会の聖堂を考えてしまいます。
いみ じだい しん
それはある意味では、イエスの時代の神
でん おな ちくわり
殿と同じような役割をはたしています。
かみ で あ ばし
しかし、神と出会う場所について、も
ひろ ところりかい
っと広い心で理解していかないと、とん
でもないまちがいをおかしてしまいます。
とき ばあい わたし かみ で あ
時と場合によっては、私たちが神と出
ばし せいどう せと ひとり
会う場所は、聖堂の外にあります。一人
ひとり にんげん かみ
一人の人間のからだは神のすまいであり、
わたし ひと で あ なか
私たちがまわりの人と出会っていく中で
かみ で あ だれ さ
神と出会うのです。そのために、誰も差
べつ ひと たい
別されてはいけないし、すべての人が対
どう かみ
等に神のすまいなのです。

11月9日ラテラン教会献堂の祝日(滝野)